

NPO 法人ばお

NPO 法人ばおの概要

◇ 設立趣意

不登校、ひきこもりと言われ、行き場をなくしてしまった人達が、自分でやりたい事を見つけ、チャレンジしていけるようなサポートを目標とし、子ども達、若者が安心して自分らしく過ごせる場、自分探しのできる体験を、地域の中に創り出していきます。

◇ 理念

ボランティアや自然体験を通して、一人一人の「自分には何ができるんだろう?」「なにがしたいんだろう?」「どうすればいいの?」という声に真剣に向き合っていきます。地域でともに学び、考え、ともに育っていくなかで、年齢や性別、学校、個性といった枠を超えた信頼の輪を広げて活動を行います。

◇ 方針・特色

- ・ばおは、自分のやりたい事を自分で決めて活動をしています。
- スポーツ（バトミントン・バスケット・テニス）は、火曜・金曜の午後に活動あとは決まっていない。自分たちで計画を立てる事が基本です。
- ・自分たちで学習を計画して大人と一緒に勉強をします。
- ・やりたい事があるなら一緒にやってみよう！！
「ない」なら探してみよう！！
今という大切な時間を「活動してみたい」と思ったらみんなでやってみる。家でもなく学校でもないフリースペースがばおです。

◇ばおの1週間について

☆養鶏活動



養鶏活動は社会福祉法人むそうさんからお願いされている仕事です。

- ・養鶏場でにわとりのお世話
- ・たまごの出荷準備
- ・たまごの出荷

☆火曜日・金曜日 スポーツ



・半田市にある子どもたちの生きる力をのばすネットワーク のばす会さんと合同で半田市青年の家でスポーツをしり合同でお昼ご飯を作ったりします。

☆水曜日 ボランティア 料理



・隔週水曜日に半田市内にある老人ホームで喫茶店のお手伝いをします。

この1週間の日程が決まっているが、必ずその内容の行うのではなく、その日の内容は子どもたち自身が計画をたて、子どもたちのやってみたい事を尊重して行っています。そして長期休暇には、昼食を作ったり自然体験に行ったりエネルギーに活動をしています。

☆木曜日

木曜日はぱおはお休みで相談日になっています。

◇グループで参加した活動について

・ワンデイシェフ

ぱおの子どもたちと一緒に、自立生活支援センターのらんちをまかされ、実際に調理からお金の会計までを任されました。料理内容は、キャベツとベーコンを炒めて入れた春巻きと鶏肉と甘辛しょうゆで炒めた卵をのせた照り焼きチキン丼・サラダと玉ねぎが入ったオニオンスープを振る舞いました。

活動2日目で子どもたちと1日キッチンで作業する事になり、子どもたちと仲良くなる事が出来ました。5時間くらいの間でしたが、調理から会話まで1日責任を持ってやる事によって、子どもたちにとってとても自分たちにとっても良い経験になりました。



(ぱおでワンデーシェフで準備)



(この料理をワンデーシェフで提供をしました。)

◇ 学習支援

普段学校へ行かずばおにきている子どもたちに学習支援をしました。対象は小学生から中学生まで、算数や英語を教えてあげました。勉強が始まると学生が教えることに真剣に聞いてくれました。



(みんなで勉強)

◇ スポーツ

半田市にあるさくら小学校の屋上にあるプールで子どもたちと一緒に泳いだり、遊んだり、青年の家の体育館でバスケットボール・バドミントンをしたり半田小学校の校庭でサッカーをしました。



(半田小学校でサッカー)



(さくら小学校でプール)

◇活動をしていて見つかった問題点・不登校支援での問題点・子どもたちから学んだことについて

・活動をして見つかった問題点

大学生など大人と会う機会はとても少ない子どもたちにとって活動をしていきなり大人と遊ぶのは少し大変でした。交流も必要でした。

まずは子ども一人ひとり向き合ってどんな子なんだろう？ どんな事をしたいんだろう？ コミュニケーションをする時にどうやって話しをかけよう？ などたくさんの問題点が見つかりました。関さんからのアドバイスで子ども達の雰囲気や会話の中から一緒にできる事を探してみよう。失敗をどンドンして、失敗をしても大丈夫な事を教えてあげよう。積極的なコミュニケーション・待つコミュニケーションなどを使い分けてみよう。などたくさんアドバイスをもらい、数日後にあだ名で呼べるまでコミュニケーションが出来ました。何をやるにもこの学生が良いとか指名までもらう事も多々ありました。

・不登校支援での問題点・ばおの問題点

不登校支援でとても重要なのが子どもの居場所や法人での運営です。

子どもがフリースペースから卒業して学校に戻る事はとっても良い事であるが、運営をする上では収入が入らない。介護保険や障害者自立支援法みたいに一定のお金が収入となる訳ではない。子どもが1回や月で利用をする事により収入が入る。不登校支援をしている事業所ではとても大変な運営になっている現状です。ばおでは半田市市民参画支援センターの一角を借りて運営をしているが、数年後には立ち退きをしないといけない状況になっています。ばおでの収入や移動をする為の資金も大変な状況で立ち退きをしないといけない状況と聞きました。今の状況でどうばおが新しい場所を確保出来るか分からない状況です。

この状況で自分たちはどんな支援が出来るのかを考えたいと思います。

・子どもたちから学んだ事

活動を通してばおでは達成感を重視しています。

子どもたちと一緒に夏休みの課題を一緒に完成させたり、たくさんの活動を通しての達成感を感じてもらいました。この達成感は学生にもたくさんの勇気や感動を子どもたちからもらったととても思います。やれば出来るとよく言われるが一生懸命ゆっくりでも良いから出来る事も改めて感じました。子どももゆっくりだけど、たくさん成長をしているんだなと短い間だけどとても感じました。

感想

NPO法人ばおで活動をしてみて、強く感じた事は「不登校だから」という理由で一箇所に留まるのではなく、色々な場所へ行き、人と会うことで子どもは大きく成長でき、力になっていると感じました。自分たちから見れば年下の子どもだけど、それぞれが自分の意見を持ってきちんと主張が出来る子だったので、一緒に活動をしていくうちに自分たちは相手と平等な関係を築く事や、相手を尊重する力が付いたと思いました。

後輩へのメッセージ

活動を始める前に目標をしっかり決めておくことが大事だと思います。

また実際に活動先に行かなければ雰囲気や状況が分からないので活動日より前にあらかじめ訪問させてもらうといいと思います。そうすることで子どもたちとも面識ができ、はやく仲良くなることができると思います。

こういった子どもを支える団体が抱える問題、成り立ちなど普段は気にしない、知らなかった部分が見られるので、少なからず自分自身の力になるだろう。

だが、思うだけでは意味がないので、その問題をどう捕らえていくか、また、どう活かしていくかが必要になってくると感じます。

またSLという活動をしているので、振り返りをしっかりと行ってほしいと思います。